

◎平出水への疎開  
馬場梓さんの巻

# 上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課  
上西集落支援員  
馬場 信一 編集  
連絡先090-9579-3953  
上西校区長責任発行

## 大口平出水への学童疎開を語る③

八月。私たちはお盆に先祖の供養をし、原爆忌・終戦記念日には鎮魂の祈りをささげます。大口平出水に集団学童疎開された方の聞き取りをすすめています。今回は当時小学二年生だった馬場梓さんです。

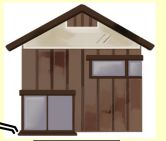


家を出発してから、いきい西之表の港に向かうと？

西之表港 (イメージ)



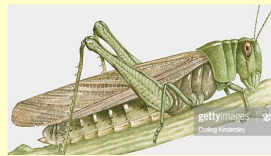
中西の公民館 (イメージ)



自宅

んーにゃー。中西の公民館にいったん集まって、そいから港さな一行ったとや。家を出(づ)いときーは夜やったろ。昼間あ船え乗れば、B29が爆撃すいろうがー。そうせーば船もろとも攻撃を受くいろうが。じゃから夜に行かんばやったとや。港に行つたいば、中種子からも南種子からもやろうなー、わざいか人やったや。

去年、梓兄(あによー)から聞いたばって、疎開で行方不明になった子がおったちゅうて？



地元の人たちと遊ぶこたあ、あつちゅう？

地元の子ともケンカして、中種子の小学2年生の子が、一人、わからんごとなつたとや。

そあんこたあ、なかつたな。

共同生活になって、食うもんがなかるーが。イナゴをばとって、串刺しーして、火いあぶるわけや。

そうせーば最初、角とか、羽か焼くいから、その次いなー、脚なんどが焼けて、最後に胴体ばつかい残いとや。

よか匂えがすいわけ。ほかー、チョウチョコとかトンボや。コウロギな。イナゴが一番、んーまかつたな。よかごつつおや。

なひかーそあんこてーなつちゅう？

何人か友だーがおつたばって、そん子が「家さなーもどい」ちゅうから、周りんしが「行たちやあいけんから」ちゅうて止めたばって、後ろを見たいば、おらんにやつちゅう。どしんしはそいに気がちて「行くなー。こつちい来ーい」ちゅうて、やあれ止めたばって、手を振って線路をば歩いて行つちゅうわあ。

大人んしもわざい探あたばって、見ひからんやつちゅう。ごーらし。

お母さんはそん子の名前を何回も何回も呼んで泣き崩れたちゅう。76年前の話やからなー...

(以上は梓さんの奥さんの話も加えて)



疎開先の家には跡継ぎがおらず、梓さんを跡継ぎにと思い、とても大切にされたそうです。おばあちゃんが梓さんを夜に小便をさせようと後ろから抱いて縁側でさせたら、寝ぼけて落ちた話に一同大笑いでした。